

# 平成28年度「牛乳乳製品健康科学」学術研究実施要領

牛乳乳製品健康科学会議  
一般社団法人 J ミルク

## 1. 趣旨

「牛乳乳製品健康科学会議」(以下「健康科学会議」という)は、一般社団法人 J ミルク(以下「J ミルク」という)と共同して、牛乳乳製品の価値向上に繋がる医学・栄養学・食品科学・体育学等の分野の課題を学術的に解明するため、研究者ないし研究グループ(以下「研究者等」という)から学術研究を広く公募し、審査・選考の上、調査・研究を委託し、その成果を公表することにより、牛乳乳製品の価値向上に資するものとする。

## 2. 研究テーマ

委託する学術研究のテーマは次の通りとする。

	研究テーマ	内容
特定研究：最近の社会的課題や研究ニーズに対応したテーマに関する研究		
①	スポーツにおける牛乳乳製品の栄養的意義に関する研究	スポーツにおける牛乳乳製品の栄養的意義について、幅広い内容にて研究を公募する。特に、アスリートや発育期のスポーツにおける牛乳乳製品の意義に関する研究 キーワード：発育期のスポーツ、アスリート、体力、運動後の疲労回復
②	牛乳乳製品が免疫機能に及ぼす影響に関する研究	牛乳・乳製品あるいはその成分の免疫機能に及ぼす影響に関する基礎的・臨床的研究。特に、牛乳を摂取した際の免疫指標の変化に関する網羅的、探索的な研究や、単一の牛乳成分についての研究も対象とする。ただし、乳酸菌、プロバイオティクスに関する研究は対象としない。 キーワード：牛乳、牛乳成分、免疫機能調節、免疫指標、自然免疫、免疫寛容、免疫不全、アレルギー、感染防御、抗炎症
③	牛乳乳製品とメンタルヘルスに関する研究	牛乳乳製品による「抗ストレス」「抗疲労」「抑うつ」などの効果に関する研究。 キーワード：睡眠、リラクセス、認知機能、生体リズム、抗ストレス、抗疲労、抑うつ
一般研究：当該研究領域に関連する幅広い視点や新規性のある研究		
④	各ライフステージにおける健康と牛乳乳製品	各ライフステージについて、基礎研究を含め幅広い内容にて研究を公募する。 キーワード：妊娠期、授乳期、幼児期、学童期、思春期、青年期、壮年期、高齢期、メタボリックシンドローム、フレイル、ロコモティブシンドローム、サルコペニア、介護予防、給食

## 3. 研究採用数

上記(1)、(2)をテーマとする研究計画の応募申請の中から10件程度を採用する。

#### 4. 応募資格

国内の大学及び短期大学、専修学校、国・地方公共団体の設置する研究所、独立行政法人の研究機関等で学術研究を行っている研究者等(大学院生含む)、またはこれに付随する研究を行っている個人の研究者等とする。

#### 5. 委託の要件

- ① 国内外に未発表の研究であること。
- ② 外部への研究発表に際しては、事前に「健康科学会議」に連絡するとともに、「健康科学会議」及び「Jミルク」の学術研究費の支援を受けたことを明らかにすること。
- ③ 研究については、「健康科学会議」学術研究審査委員会（以下、「審査委員会」という）に報告書を提出し、評価を受けること。
- ④ 研究成果の全部もしくは一部を刊行し、または発表する場合は、その刊行物または別刷の1部を添付して、「健康科学会議」及び「Jミルク」に報告しなければならない。

#### 6. 委託研究期間

原則として1年を超えないものとする。

但し、研究の内容によっては、最長3年間まで認めるが、1年以上の期間の研究を申請する場合は、全期間にわたる研究計画・支出計画を申請書に明確に記す。

なお、年度ごとに中間報告を行い、成果が認められない場合は、委託研究の中止が求められる場合がある。

#### 7. 委託研究費

年間一件当たり原則として150万円(消費税込)以内とする。

なお、複数年度の研究においては、研究年度×年間委託研究費を上限額とする。

※個人で実施する場合は、所得税法等の規定により源泉所得税の課税対象となります。

※本学術研究は全国の研究機関を対象とした公募型のプロジェクトであり、研究助成として業務を委託するものです。当該研究費にかかる間接経費は計上されておられません。当該委託研究費は全額を調査・研究費に充てる為、研究機関に支払う間接費等に関しては、所属機関内にて免除手続き等を行なうこととします。

#### 8. 委託契約の締結

「健康科学会議」及び「Jミルク」は、研究者等と別に定める委託研究契約書により、契約を締結する。

#### 9. 委託研究費の支出基準

委託研究費の支出基準は、次のとおりとする。

原材料費：実験用材料等の購入費（固定資産となる備品は対象になりません。）

賃借料：測定機器、カメラ、計算機等の賃借料

賃金：実験補助員、調査補助員等に対する賃金

会議費：調査、打ち合わせ等に係る会議費

謝金等：調査、打ち合わせ等に係る謝礼品代

旅費：資料収集、調査、打ち合わせ等に係る旅費とし、所属機関の旅費規程により支出するもの。国内外を問わず、単なる学会出席のための旅費、参加費は対象外とする。また、海外調査も対象外とする。

通信運搬費：郵便料、振込手数料等  
印刷費：報告書作成等に係る印刷、製本費  
投稿料：研究成果の学会誌発表のための投稿料（受理された場合に限る。）  
上記以外の経費項目については、具体的な内容の項目を記載し、それぞれの経費の金額を記載すること。（研究成果の学会誌発表のための投稿料（受理された場合）等含む。）

#### 10. 申請手続き

別紙1の平成28年度牛乳乳製品健康科学学術研究申請書の定めるところによる。本実施要領末尾に記載の事務局まで、郵送等により送付すること。  
なお、申請書の電子データを希望する場合の問い合わせ先も事務局とする。

#### 11. 申請期間

平成27年10月1日（木）～平成27年12月31日（木）とする。

#### 12. 選考方法

「牛乳乳製品健康科学学術研究審査委員会」が、必要に応じて各分野の専門家の意見を参考とし、審議決定する。

審査委員会（選考委員は五十音順）

委員長	折茂 肇	公益社団法人骨粗鬆症財団理事長
選考委員	大日向 耕作	京都大学大学院農学研究科 准教授
	川原 貴	国立スポーツ科学センター センター長
	桑田 有	人間総合科学大学大学院 教授
	清水 誠	東京農業大学応用生命科学部栄養学科 教授
	下条 直樹	千葉大学大学院医学研究科小児病態学 教授
	中村 丁次	神奈川県立保健福祉大学学長
	細井 孝之	医療法人財団健康院クリニック

#### 13. 決定通知

採否の結果は、平成28年2月上旬に通知する。  
なお、Jミルクホームページ等において委託研究決定者を公表することとする。

#### 14. 委託研究費の交付

委託費の支払は委託研究が完了し、その額が確定した後に行うものとする。  
ただし、研究者等からの請求に基づき委託研究費の概算払いをすることができる。  
なお、個人契約の場合、源泉徴収額を差し引いた額を振り込むこととする。

#### 15. 研究報告書等の提出

研究者等は、委託研究期間の終了後から45日以内（単年度研究の場合は、提出締め切り日は平成29年5月15日）までに、研究報告書（A4サイズ、文字方向横書き、印刷の向き縦、30枚程度のアウトプットとデータ）及び収支報告書を提出する。なお、別に定める研究報告書の構成、引用文献リスト及び表・図の記載法について改めて連絡する。

選考委員会は研究報告書について審査を行なう。

「健康科学会議」及び「Jミルク」は次年度以降の当該研究者研究の新規採択、研究継続の可否または委託研究費の算定にあたって選考委員会の審議結果を参考にする。

なお、研究を中止する場合、委託研究費の使途が不相当とみられる場合または既に交付した

委託研究費に残額が生じた場合は委託研究費の一部または全部の返還を請求することがある。

**16. 研究成果の公表**

「健康科学会議」及び「Jミルク」は、提出のあった研究成果を取りまとめ、報告書を作成し公表する。

**17. 経理の区分整理**

当該研究に係る経理については、他と区別し、その内容を明らかにした帳簿を備え収入支出の額を記載する。また、これらに関する証拠書類を整備保管する。その期間は完了した年度の翌年度から起算して5年間とする。

**18. 個人情報の取り扱い**

委託研究申請書類に含まれる個人情報は、本学術研究の業務の目的以外には一切使用しないこととする。

**19. 問い合わせ先**

<事務局>

〒104-0045 東京都中央区築地4丁目7番1号 築地三井ビル5階

一般社団法人 Jミルク

担当：高野義彦

電話 03-6226-6352 FAX 03-6226-6354

E-mail : y-takano@j-milk.jp

(別紙様式1)

## 平成28年度「牛乳乳製品健康科学学術研究」申請書

提出日 平成 年 月 日

### 1. 研究代表者

フリガナ 氏名		生年 月日	
所属研究機関名		役職	
所属研究機関 住所等	〒 TEL FAX		
E-mail			
自宅住所	〒 TEL FAX		
研究代表者の略歴			

### 2. 研究課題

研究課題名			
研究形態	個人 ・ 共同 (該当項目に○を付してください)	研究テーマ No	①~④いずれか記載
共同研究の場合の研究メンバー(研究機関名・役職・氏名を明記)			
研究の分類 (該当する下記部門に○印を付して下さい。)			
	疫学的調査		

	介入試験による疫学的研究
	動物を用いた実験的研究
	臨床的研究
	その他 [ ]

3. 研究目的・計画・方法 注:以下の内容を盛り込むこと。

- ① 研究目的
- ② 調査・研究の計画及び方法
- ③ 国内外における先行研究の状況（自己の研究も含む）及び関連文献
- ④ 本調査・研究の特徴点と意義
- ⑤ その他特記すべき事項（過年度に同様のテーマで応募している場合は、これまでの成果と今回の調査・研究内容について比較、整理して記入する）
- ⑥ 外部への研究発表計画（学会、紀要、学術専門誌等の名称を記入する）

